

令和2年度
4~5月 事業案内

※申し込みが必要です。電話または直接窓口へお願いします。

みんなで
遊びに
きてね!



君も発掘探検隊

- 日時 4月25日(土)
午前10時~12時
- 内容 模擬発掘と工作
- 定員 15人
- 料金 無料
- 申込 要/4月1日(水)~
定員次第終了

新型コロナウイルス感染症対策のためイベントが中止となる場合があります。開催の有無はウェブサイトでご確認ください。



あなただけの土器づくり
(初中級編)

- 日時 4月26日(日)
午前10時~12時
- 内容 2kgの粘土で土器づくり
- 定員 15人
- 料金 400円(材料代)
- 申込 要/4月1日(水)~
定員次第終了



古墳まつり春

- 日時 5月3日(日)・4日(月祝)
午前9時~午後5時
- 内容 競技会・工作コーナー
勾玉ざんまいなど
- 料金 勾玉ざんまいのみ有料
滑石製:200円
色付:500円
琥珀製:1,500円
- 申込 不要



第1回歴史講座

- 日時 5月24日(日)
午後1時30分~3時
- 内容 郡山市の歴史や
遺跡に関する講話
- 講師 大安場史跡公園職員
- 定員 50人
- 申込 要/4月24日(金)~

1年間たいへんお世話になりました。来年度も精いっぱい頑張ります!



イラスト:渡邊 歩

大安場史跡公園では、皆さんに喜んで頂けるような催し物を、これからも開催して参ります。ご要望やお気づきの点などございましたら、遠慮なくお申し付けください。

大安場史跡公園

(公益財団法人郡山市文化・学び振興公社)

住所:福島県郡山市田村町大善寺字大安場160番地
電話:024-965-1088 FAX:024-965-1090
Mail:oyasuba@bunka-manabi.or.jp
ガイダンス施設休館日:月曜日(月曜日が祝日の時は次の平日)
年末年始

※公園は年中無休です。

ウェブサイトも
チェック!

大安場史跡公園 検索



まるさんかくしかく

タイトルはまるい石釧、さんかくは古墳の前方部、しかくは後方を表現しています。

**守山城三の丸1号墳に新知見
北関東と関係?**

平成22年度に実施された守山城跡の発掘調査で、古墳が発見されました。それまで古墳の存在は全く想定されていなかったのが、驚きの調査成果でした。守山城三の丸1号墳と名付けられたその古墳は、古墳時代後期後半に築造された地域を代表する古墳です。径約20メートルの円形の主丘部を持ち、遺体を埋葬する施設は横穴式石室でした。周溝からは墳丘に立て並べられていた円筒埴輪が、横穴式石室からは副葬品である装身具や死者への供物を乗せたと思われる脚の長い須恵器の高坏などが出土しました。



▲発掘された守山城三の丸1号墳



上下
反転

▲守山城三の丸1号墳出土の「低位置凸帯埴輪(ていいちどったいはにわ)」

▲報告書に掲載された埴輪の破片



▲栃木県壬生町富士山古墳出土「低位置凸帯埴輪」(壬生町歴史民俗資料館提供)

出土した円筒埴輪は破片の状態でも数も少なかったのですが、表面に縦方向の刷毛目が明瞭に残っていることや、透し孔の形状が円形らしいことが確認できました。ただ、報告書に掲載されている図面の中に、少々おさまりの悪い破片がありました。埴輪の表面を横方向にめぐる凸帯の位置が、上部の口縁部付近に付いていたからです。このような特徴の埴輪は古墳時代後期では例がありません。その一方で、下部の底部付近に凸帯がめぐる例は、栃木県などの北関東の後期古墳で多く認められ、福島県では矢吹町などでみついています。問題の破片を確認したところ、底部付近の破片と考えても差し支えないものでした。となれば、守山城三の丸1号墳の円筒埴輪の背景には、北関東との関係が想定できそうです。

令和元年度 総まとめ

令和元年度は、およそ30の催し物を開催しました。年度末にあたり、そのうちのいくつかを振り返ってみます。今年度は、ボランティアスタッフが活躍した1年でした。



第1回企画展



第2回企画展



ボランティア発足10周年企画



土器づくり作品展



第1回歴史講座



第1回企画展記念講演会



歴史講演会



10周年記念シンポジウム



第2回歴史講座



第2回企画展記念講演会

毎年恒例の「古墳まつり」を、今年もたくさんの方に楽しんでいただきました。春・秋ともに、恒例の勾玉づくりやワークショップを大規模に行ないました。秋には特別に、郡山女子大学短期大学部の学生さんによるホールコンサートを行ないました。素敵な演奏に、皆さん魅了されているようでした。

古墳まつり



古墳まつり 工作コーナー



古墳まつり ホールコンサート



グルメ体験



陶器づくり



草木染め



あなただけの土器づくり



君も発掘探検隊



展示

エントランスホールを利用したミニ展示も合わせ、7回の展示を開催しました。福島県の前古墳時代に焦点をあてた第1回企画展「FUKUSHIMA前期古墳アラカルト」では、桜井古墳や森北1号墳の鏡が興味を引いていました。第2回企画展「湖南町の歴史」では、美しい福良焼はもちろんのこと、職員手作りの防塁跡の模型が注目を集めていました。「発掘ガール」と題して、郡山女子大学短期大学部の学生さんの学習成果を発表する展示も行ないました。

ミニ展示では、土器づくりなどの参加者の方の力作を展示し、素敵な作品をたくさんの方にご覧いただきました。そして、今年度はボランティア発足10周年を記念した展示やワークショップも行ないました。古墳の頂上に飾られている壺をボランティアスタッフが作成した様子や個人の活動成果など、ボランティア活動10年の歩みに触れていただきました。



ものづくり

「あなただけの土器づくり」や「陶器づくり」などでは、皆さん素敵な作品を仕上げていました。「グルメ体験」では、古代の乳製品「蘇」を作り試食しました。「自然な甘さでおいしい」と好評で、試食について手が伸びてしまう方もいらっしゃいました。「草木染め」では、蘇芳を用いた染色に挑戦しました。作品ごとに色味はもちろん、同じしぼり方でも模様や雰囲気が異なり、偶然との出会いをお喜びいただきました。



講演会

講演会などの講話は、6回開催しました。第1回企画展記念講演会では、東北学院大学の辻秀人先生が「東北の前期古墳と大安場古墳」というテーマで、第2回企画展記念講演会では、福島県歴史資料館の小暮伸之先生が「郡山市湖南町における戊辰戦争期の陣地跡」というテーマでそれぞれご講演くださいました。いずれの講演会にも、多くの方にお越しいただきました。

今年度は全面開園10周年を記念した催し物も行ないました。「歴史講演会」では、福島大学の菊地芳朗先生が古墳時代前期の東北について解説してくださいました。また、菊地先生にコーディネーターを務めていただいた「記念シンポジウム」では、福島県各地域の前期古墳について、木幡成雄先生、柳沼賢治先生、吉田博行先生に最新の調査・研究成果を発表していただきました。発表後は質問コーナーも設けられ、素朴な質問から議論が広がる場面もありました。

「歴史散歩」では施設を飛び出し、宮城県村田町と白石市の史跡をめぐるしました。地域の祭りの様子を再現した人形が動き出した際には、その迫力に皆さんびっくりしていました。「野鳥観察会」では、ヒバリの鳴き声が聞こえました。地域によっては絶滅危惧種に指定される珍しい鳥です。トンビやサギなど大きな鳥を見つけたときは静かな興奮に包まれ、皆さん一斉に双眼鏡を向けていました。「古墳でお月見」はあいにくの天候でしたが、一瞬だけ月が顔を出してくれました。お団子を食べながら、ふれあい科学館の方の解説と最新の3D映像をお楽しみいただきました。



その他の催し物



古墳でお月見



野鳥観察会



歴史散歩